

第 50 回 地域協議会（地域医療支援委員会）議事概要

【日 時】平成 30 年 12 月 26 日（月） 19：30～20：30

【場 所】人吉医療センター3階 講堂

【出席者】岐部 明廣（人吉市医師会会長）
犬童 裕成（球磨郡医師会理事）
近藤 浩之（球磨郡医師会副会長）
河内 謙介（西諸医師会理事）
水間 良裕（伊佐市医師会副会長）
清水 雅英（人吉市歯科医師会理事）
山村 礼二（球磨郡歯科医師会理事）
村田 圭介（人吉球磨薬剤師会会長）
緒方 敬子（熊本県人吉保健所）
告吉 眞二郎（人吉市健康福祉部部長）
原田 和紀（えびの市健康保険課課長）
大瀬 敏克（利用者、学識経験者）
末次 美代（学識経験者）
木村 正美（人吉医療センター院長）
下川 恭弘（人吉医療センター副院長）
大竹 秀幸（人吉医療センター副院長）
石神 哲郎（人吉医療センター歯科口腔外科センター長）
入部 直子（人吉医療センター看護部部長）
作元 功（人吉医療センター事務部部長）
西山 三智（人吉医療センター総務企画課課長）
黒木 美佐（人吉医療センター総務企画課係長）
山田 一裕（人吉医療センター医療福祉連携室）
小田 薫子（人吉医療センター医療福祉連携室）

【欠席者】山田 和彦（人吉市医師会副会長）
有園 良介（伊佐市総務課課長）

（敬称略 出席 計 22 名）

【概 要】

一、開会（事務局）

二、院長挨拶

三、議長挨拶

四、議題（議長）

1. 登録医承認（事務局）

登録医、新規登録 4 名、現在登録医数 250 名（別紙参照）

→全会一致で承認

2. 要望・ご意見（西諸医師会、伊佐市医師会）

・河内議員

いつも救急の患者さんをすぐに受け入れて頂き有り難うございます。

・水間議員

薬剤耐性（AMR）が世界的な健康リスクとされている。医療機関や介護施設、保健所等のステークホルダーを包括した AMR 対策が必要となるが、人吉医療センターでの取り組みについて伺

いたい。

→当院、福島薬剤科部長より当院での薬剤耐性（AMR）アクションプランについてスライド発表を行った。

当院では、抗菌薬適正使用に関する体制としてH26年4月よりASTチームを発足し、多職種による治療支援活動を開始。院内での周知を行い、H28年1月よりASTチームが本格稼働している。現在は医師2名、感染制御看護師1名、薬剤師1名、検査技師1名、看護師1名で週1回活動を行い、指定抗生物質投与患者の適正使用評価、耐性菌検出患者への対応、主治医からの相談対応などを行っている。

3. 老人福祉施設からの入院患者の現状と課題

当院、久保田情報管理士より自医療圏の外部環境、自院における老人福祉施設からの入院患者の現状と課題について情報提供を行った。

球磨医療圏での看取りを行っている施設は29件（内要相談3件）。人口動態調査における65歳以上の死亡場所の推移は、病院での死亡割合は2013年から2017年の間で2.5%減少し、施設での死亡割合は2.5%増加となっている。現状、球磨医療圏における在宅医療を担う医師の高齢化となっている。

当院へ搬送された患者では、死亡全体の約3割が在院日数1日目で死亡している。

今後は施設で看取りが出来る体制を構築するためにも。施設側と医療機関側が相互に歩み寄りながら取り組みが必要である。そのためにも医師会主導により、医療圏全体で今後の在り方について検討を行い、施設入所待機者の増加が予想されるため、地域医療構想において、介護医療院・慢性期病床の一定数確保も必要ではないかと考えられる。

4. その他

・近藤議員

10月に神経内科へ患者さんを紹介した。その後、人吉医療センターより、神経内科が休診となるため、紹介元より患者さんへ連絡をしてもらうよう依頼があった。

しかし、カルテと紹介状を確認したところ、10月30日に受診予定と記載をしていた。その後、患者さんより電話あり、予約日を間違えていたと連絡があり、受付のスタッフが11月30日とメモを取っていたため、11月30日に診療があると思い込んでいた。実際患者さんが受診したところ休診であった。

要望として、紹介元からも連絡を行います、人吉医療センターからも患者さんへ連絡をいれてもらいたい。

→非常勤の診療科であり、看護師、クラークが固定しておらず、患者さんに対する配慮が足りなかった。外来等でも話し合いを行い、今後同じようなことがないように注意していきたいと思えます。

・入部議員

年末年始に強ミノなどの注射の依頼等で紹介をして頂く事があるが、救急外来での対応となり、救急患者を優先した対応となるため、紹介いただく際には患者さんへ待ち時間が発生することを説明していただきたい。

五、閉会